

8 夢実現セミナー～社会人としてのスタートを応援します～

平成18年11月18日～19日

1 ねらいとその達成状況

事業項目・区分 (現代的課題等)	①勤労観・就業観を育成する事業 ②主体性、社会性を育むための体験活動等事業			
事業のねらい (学習要求や必要課題等)	自分の夢の実現へのアプローチの仕方が分からない青年に、仕事を切り口に様々な人と出会い、刺激し合う機会を設け、自己実現するためのきっかけとなるようにする。また、社会人として独立するために必要なことなどを把握する機会とする。			
ねらいの達成状況 (参加者の変容等)	自分の特性について考えるワークショップなどとおして、社会人としてこれからの人生をいかに生きていくかを考えるきっかけとなった。また、実践的なワークショップをとおしてコミュニケーション能力の向上も図れた。			
参加者のアンケート 結果(満足度)	①事業全体	100%	②プログラム	100%
	③運営	100%	④職員の指導・助言	100%

2 企画・立案

事業の必要性 (理由・背景等)	青年の職業離れは深刻な現代的課題である。この課題に対応するため、夢の実現へのアプローチが分からない青年に、仕事を切り口に様々な人と出会い、刺激し合う機会を設け、自己実現するためのきっかけとなるよう本事業を実施する。様々な青年を支援する本所としては不可避の事業である。		
ニーズの把握状況	聞き取りによる参加者の事前調査を実施しニーズを把握した。また、群馬県産業経済局労働政策課や若者就職支援センター、職業選択・NEET(ニート)支援を中心に活動しているNPOと情報交換し、ニーズの把握に努めた。		
ねらいとプログラムの関係	自己分析や社会人として必要なコミュニケーション能力を育成するワークショップをとおして社会人基礎力を育成するとともに、ビジネススキルを向上する。		
主なプログラム (タイムテーブル)	1日目		
	時 間	プログラム	活動内容概略
	10:30～10:45	開講式	ねらいの共有化等
	10:45～12:00	ワークショップ1	「自分の特性を知る」等
	13:15～17:00	ワークショップ2	「視点の切り替え」等
	17:30～19:30	ワークショップ3	「自分の興味・関心を知る」等
	2日目		
	時 間	プログラム	活動内容概略
	9:00～10:00	講義・ワークショップ4	「社会人基礎力」について
	10:00～12:00	ワークショップ5	グループ内でのフィードバック
	13:00～14:00	ワークショップ6	「夢の設定」等
	14:00～14:30	ワークショップ7	ふりかえり・まとめ
	14:30～15:00	閉講式	
	事業の改善点 (継続事業のみ)	ワークショップを多く取り入れることにより、より体験的・実践的なプログラム内容とした。	
企画・立案体制(関係機関・講師との連携等)	講師派遣を依頼した株式会社リンクアンドモチベーションと事業のねらいを共有化し、プログラム内容の検討を実施した。また、経済産業省と「社会人基礎力」の講義・ワークショップについて連携した。		
募集人数の設定基準	無理なくワークショップ体験ができる人数を基準とし、参加者の人数を設定した。		
実施時期の設定理由	学生の就職活動がスタートする時期に実施すれば、就職活動が計画的に活動できると判断した。また、就職に対するモチベーションが向上している時期であると判断した。		

3 参加状況等

募集人数・募集対象	募集人数：30人 募集対象：学生・高校生・社会人等
参加者数(申込者数)	参加者数：36人(申込44人)
参加者内訳	高校生：3人、学生：20人

	社会人：13人（10代4人，20代25人，30代4人，40代3人）
参加地域	設置道県：17人 設置道県以外：19人（内訳：神奈川県6人，東京都5人，埼玉県4人，栃木県1人，新潟県1人，長野県1人，千葉県1人）
広報活動	全国の社会教育施設，都道府県委員会，青少年団体へのチラシ，開催要項の郵送。国立赤城青少年交流の家Webページ上への掲載。新聞への掲載。
参加費	3,500円
運営担当者	企画指導専門職：4人

4 事業実施

ねらいの周知・方法 （参加者・講師・職員）	参加者は，WEBページ上でねらいや当日の内容を確認，さらに，郵送することのよりねらいを周知した。講師，職員はメールのやりとりや事前の打ち合わせにてねらいを共有した。
参加者の学習状況 （学習内容・方法）	参加者は自己分析やコミュニケーション能力育成，夢の設定などのワークショップに意欲的に取り組んだ。また，様々なワークショップを経済産業省が提言する「社会人基礎力」とリンクさせることにより，社会人としての必要な意識やスキルを実践的に学ぶことができた。
日程運営 （スケジュール）	グループワークをとおして，参加者の学びが深まるように日程を作成した。スケジュール的にはタイトであったが，参加者は充実感や達成感を味わえたようである。
学習環境 （施設設備・教材資料等）	参加者が集中してワークショップに取り組めるように，研修室のレイアウトを工夫した。また，参加者がリラックスした状態でセミナーに参加できるように，BGMを流したり，湯茶コーナーを設けたりした。
健康・安全対策	事前に健康面に関するアンケートを実施し，健康管理の参考とした。また，風邪等の防止のため，水分補給用の湯茶コーナーの設置や研修室の加湿に心がけた。
講師・関係機関等との連携 （ボラ等を含む）	事業実施前に講師とワークショップや講義の具体的な内容や会場について綿密にミーティングをした。さらに，効果的なワークショップになるように参加者のグルーピングなども連携して実施した。

5 事業実施後の評価や普及

参加者の評価 （アンケートの自由記述等から）	自分の夢や新しい物の見方，自分の強み・弱みを知ることができた。また参加者との交流をとおして多くの気づきを得ることができたなどの評価を得た。
講師・関係機関等の評価	参加者の年齢層が高校生から社会人と幅広かったことにより，「働くこと」や「夢」について多面的な学びになった。また，様々なワークショップをとおして，参加者がお互いに高め合うことができた。
職員の評価 （企画段階から関わったボラ等を含む）	講師との打合せを十分に行ったことにより，職員と講師との共通理解が深まり，円滑な運営につながった。
事業報告の状況	文教ニュース社や官庁通信社を通して事業内容を発信した。今後WEBページ上にも事業内容を公開した。また，所内にも報告を掲示した。
普及実績 （計画・予定を含む）	参加者である教育関係者や若者の就職支援事業関係者から，それぞれの方面での普及が期待される。
事業後の反応 （参加者・普及先等）	大学などの教育機関から事業内容についての問い合わせがきたり，参加者から，これからの就職活動に活かしていきたいとの声が聞かれたりした。

6 その他の特記事項（成果等）

経済産業省の協力を受け，同省が提唱する「社会人基礎力」に関する講義を取り入れたことにより，参加者の学びが広がった。 広報近隣大学のキャリア教育関連の担当者や群馬県産業経済局労働政策課，NPO等，様々な関係機関と連携したことにより，新たなネットワークを構築することができた。 本事業で連携したNEET（ニート）支援のNPOが，研修支援事業として当所で合宿セミナーを実施するなど，普及啓発の側面からも成果が現れた。 参加者の年齢層やニーズに対応するために，分科会を取り入れるなどの工夫をして，さらに充実した事業にしたい。 今回の講師：株式会社リンクアンドモチベーション 榎原洋平氏・助手2名 アイシーメンタルヘルスケア・社労士事務所 青木弘達氏	
---	--